

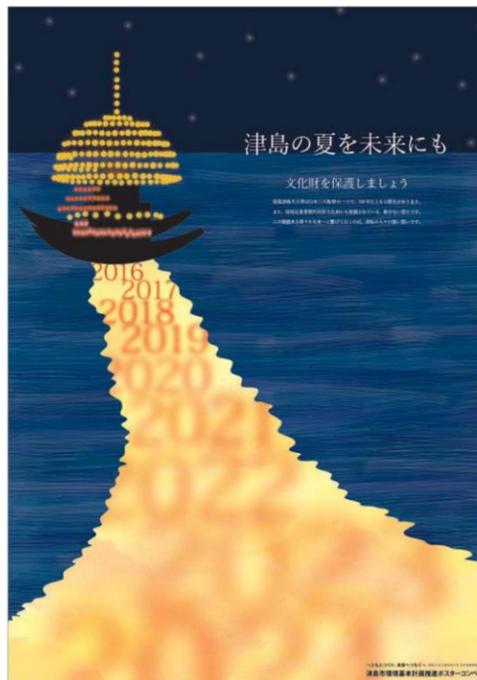


～ ともに作り、未来へつなく ～

津島市環境基本計画推進ポスターコンペ

名古屋芸術大学との官学協働企画として、津島市環境基本計画の策定にあたり、地域の持つ環境の力やその保全のためにできることのヒントを学生がデザインしました。

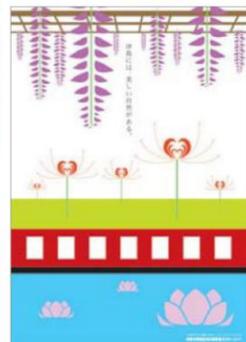
推進していく津島市環境基本計画の基本理念と5つの基本目標をもとに、学生の皆さんが知恵を絞ってポスターを制作しました。完成した作品は、ヨシツヤ津島本店や市役所本庁舎で展示し、市民の皆さまに投票していただきました。



村田 亮波 さん



山下 恵実 さん



三浦 寛文 さん



筒井 菜央 さん



野地 玉乃 さん



林 奈津美 さん

投票していただいた皆さま、ありがとうございました。

作品が表現する世界は、地域の環境のための施策・行動のほんの一部です。

津島市環境基本計画では、4つの目指すべき環境の姿とそのため幅広い取組みを定めました。市民・事業者・行政の協働により、わたしたちの環境をともに作り、未来へつないでいきます。

平成28年度、新しい **津島市環境基本計画** が始まります。

概要版

【平成28年度～平成37年度】

津島市環境基本計画

津島の自然や歴史・文化を礎に、ともに作り、未来へつなく

次代に引き継ぐべき環境は、一から築き上げるものではなく、現在の私たちの暮らしを支える地域の自然や歴史・文化を礎として、その上に築いていくものです。私たち一人ひとりの暮らしに関わる環境を自分たちの手で良くしていくという認識の上で、市民・事業者・行政の協働によって、津島らしさが生きた環境を実現します。

基本理念を具体化する2つのリーディングプロジェクト

【ともに作る】 地域による環境創造プロジェクト

自分たちのまちを自分たちで良くしていくという共通認識を持ち、地域コミュニティが主体となる地域の環境改善の取組みを通して、地域の行動力の向上に取り組みます。

【未来へつなく】 “津島人” (つしまびと) 育成プロジェクト

津島の次代を担う子どもや若者を中心とした体験・学習活動を通じて、地域の環境を知り、課題やその解決方法を考え、率先して行動できる人づくりに取り組みます。

計画の推進体制

市民・事業者・行政の協働

環境指針に基づく各主体の行動に加え、地域の環境の保全に関わる様々な主体との連携・協働により、取組みを推進します。

県・近隣市町村との連携

河川環境の改善や生物多様性の保全といった広域的な対策が求められる問題については、県や近隣市町村と連携して、広域的な視点で取り組みます。

環境基本条例の制定

地域の環境の保全について、市の基本姿勢や方針を明らかにするため、基本理念や原則、各主体の責務、施策の基本となる事項等を条例で定めること検討します。

計画の進行管理

毎年度、施策の実施状況について、庁内で検証・評価するとともに、学識者や市民で構成する環境基本計画推進委員会においてその結果の確認と市への助言を行います。

津島の自然や歴史・文化を礎に、ともにつくり、未来へつなぐ

暮らしを支える自然や歴史・文化、現在の環境を築き上げてきたこれまでの歩みを踏まえ、市民・事業者・行政の協働によって、より良い環境をともにつくり、未来へとつないでいくことを目指します。

持続可能で快適なまち

持続可能で快適なまちを構成する分野ごとに目指すべき「まちの姿」を設定しました。

1 人と生きものが共生するまち

身近な水と緑は、人の暮らしを彩るだけでなく、多様な生きものの生息生育空間でもあります。今ある自然をそのままに残すだけでなく、人の暮らしと生きものの生息・生育が共存できる環境を目指します。

- 下水道・合併処理浄化槽 → 責任をもって排水
- 河川・水路の水質や生きものの調査
- 多自然型護岸等による親水空間
- 農地の活用、田んぼの生態系、地産地消
- 地域の社寺林や保存樹木等のまちなかの緑
- 沿道、公共施設、住宅、商店街、工場等の緑化
- 地域の自然を知る体験・学習活動
- アダプトプログラム
- 地域に生息・生育する生きもの
- 生物多様性、生態系ネットワーク

2 モノを大切に作る心が根付いたまち

モノの大量消費・大量廃棄が資源の枯渇や自然への負荷の増加を引き起こした反省から、モノを大切にする心をもって、ごみを生まず、出るごみを減らし、ごみを資源に変えるライフスタイルを目指します。

- マイバッグ、エコクッキング、包装・レジ袋削減
- 生ごみ堆肥化、リサイクルステーション
- リユース市場やフリーマーケット
- 分別排出・分別回収、廃食用油のBDF化
- 使い捨て → もったいない
- 市民総ぐるみのごみゼロ運動
- ごみステーションのルール → ごみの適正処理
- ごみ排出者の責任
- 連携して不法投棄・ポイ捨て・野焼きを防止
- 災害廃棄物処理の広域連携

3 エネルギーを賢く大切に使うまち

社会生活の様々な場面でエネルギー使用の無駄を減らし、再生可能エネルギーの利用を促進します。化石燃料に頼り切らない暮らし方を進展させ、環境負荷を減らし、地球温暖化の防止を目指します。

- エネルギー使用量の見える化
- 省エネ家電、省エネリフォーム、省エネ診断
- 環境マネジメントシステム
- 緑のカーテン
- エコモビ、ふれあいバス、自動車依存の転換
- FCV、EV、PHV、エコドライブ
- クールシェア、グリーン購入
- 環境配慮行動
- 再生可能エネルギー（太陽光、太陽熱、地下水温度差熱）と蓄電池

4 津島らしさが感じられるまち

自然、歴史・文化、人などの「津島らしさ」を活かしながら、防災・減災対策、公園・緑地の整備や公害対策、美化・防犯・交通安全等の地域活動の充実により住環境の安全を確保し、人と人とのつながりや歴史・文化を実感できる安心を生み出し、物質的な面と精神的な面の双方において豊かなまちを目指します。

- 海拔ゼロメートル → 地震、液状化、津波、浸水
- 防災情報カード・ハザードマップ等のツール
- まちなかのポケットパーク
- ペットのフン害・マナーの向上、地域美化活動
- 農地・河川の景観
- 災害時行動
- 事業所やマンションが一時的な避難所
- 地域に根ざした公園、公園施設長寿命化
- 地域による防犯パトロール、交通安全対策
- 屋外広告物による都市景観
- 自主防災組織、地域で助け合う体制
- 耐震診断、耐震改修
- 公害対策（騒音・振動・悪臭・大気汚染・水質汚濁）
- 湊町、門前町、街道、町家、尾張津島天王祭、秋まつり
- 地域の歴史・文化資産、まち歩きで体験・体感

実現手法

5

持続可能で快適なまちの実現に向けて

市民・事業者・行政は、それぞれが地域の環境を知り、環境保全の方針に沿って、その役割を果たすために行動するほか、情報の活用、体験・学習の機会を利用した人づくり、各主体間の連携・協働等を推進して、地域の課題を解決します。

- 「未来を創る力」と「環境保全のための力」を育む
- 学校での環境教育、職場・地域での環境学習
- 食育
- 主体的な学習や体験活動
- 環境情報の提供・活用
- 地域活動・地域貢献
- 地域コミュニティによる課題解決
- 地域の連携、市民活動団体の育成